

●テーマ● もうすぐ新年度！ 性の多様性を大切にした学級づくり～3つのポイント～

最近「性の多様性は大切」と聞くけれど、何を大切にしたらいいの？ 具体的にはどうしたらいいの？
新年度から速攻実践するために、参加者皆で交流しながら学んでみましょう！
教員向けのテーマのようですが、どなたでも大歓迎です！

ハイブリット 開催です！

*会員のK&Mとの
掛け合いで、
相互交流しながら
学びあいたいと
考えています

日 時 : 2023年3月5日(日) 13時30分～16時00分

講 師 : 堀川 修平 さん (性教協幹事・大学非常勤講師)

会 場 : 埼玉大学(教育学部A棟324講義室) & オンラインZoom開催
定員(会場参加50名 Zoom参加100名)

参 加 費 : 1,000円 郵便振り込み (振り込み手数料はご負担ください)

*さきたま会員は無料です。非会員の方でも、学習会後に入会されると参加費が年会費になります。
会員特典として、さきたま主催の学習会・交流会無料参加と、イベントや学習会の報告書がもらえます。
詳しくは本学習会のあとにご案内します。



堀川さんからの メッセージです

もうすぐ新年度。心を躍らせる子どももいれば、心配でいっぱいな子どもたちもいるかもしれません。

実をいうと、私自身も新年度が近づくと心に心配で、夜も眠れない子どもでした。というのは、次の担任の先生がどんな先生なのか、クラスメイトはどんな友達なのかといった「人間関係」を築くのがとても苦手な子どもでもあったためです。

子どもたちの中には、ジェンダー・セクシュアリティに悩む子どもたちもちろん存在しています。そんな子どもたちが安心して新年度をスタートできるために、私たちは何を大切にしたらよいのでしょうか？これまでの性教育実践の蓄積のなかで「性の多様性」がどのように学校現場で取り入れられてきたのか？今「性の多様性」に関する教育を実践するうえで、知っておくと実践者を守ってくれる・支えてくれるかもしれない理論・教育制度とは？

小手先の「How to」を知って学んだ気になってしまうのではなく、学級づくりをするうえで「これだけは！」というポイントから、まず一緒に学んでみませんか？

もちろん、性教育のビギナーもベテランも、「性の多様性」について実践をしたことがある人もない人であっても、「あらゆる属性の子どもたちを大切にしたい！」と考えている人であれば参加は大歓迎です！

当日は、昨年6月に刊行した『気づく 立ちあがる 育てる—日本の性教育史におけるクリアペダゴジー』（エイデル研究所）に掲載されている話だけでなく、本に載せることができなかつた話について、私と性教育実践者であるお二人の先生方との掛け合いを通してお話し、参加の皆さんと個人ワーク・グループワークを通して学びを深めていけたらと思っています！



参加申し込み方法

以下の URL 又は、QRコードから お申込みください。

<https://forms.gle/f35p3TmzLwmJ85fIA>



(振込先等をご案内します)

*締め切り 3月2日(木)

お申込みと振込みが確認された方に zoom URL とパスワードをお知らせします。

*メール送信日:

3月4日(土)正午頃

□ お問い合わせ □

ご不明な点は、メールにて
お願いいたします

sakitamabp@gmail.com

担当: 篠原美香

学生時代にさきたまに仲間入りしたほーリーが、地道な研究を重ね、本を執筆し、こんな問題提起をしてくれる青年へと大きく成長してくれました！ 頼もしい限りです！

性教育を手がけてきたものにとっては、自らの実践を振りかえる契機に、これから学びたいと思っっている方には、的確な指針が得られる時間になるはずですよ。

ここまでの経緯や思いを聴きながら、更に皆で語り合いましょ！お友達をお誘いの上、ふるってご参加下さい！